

区内鉄道駅などの公共交通に関すること

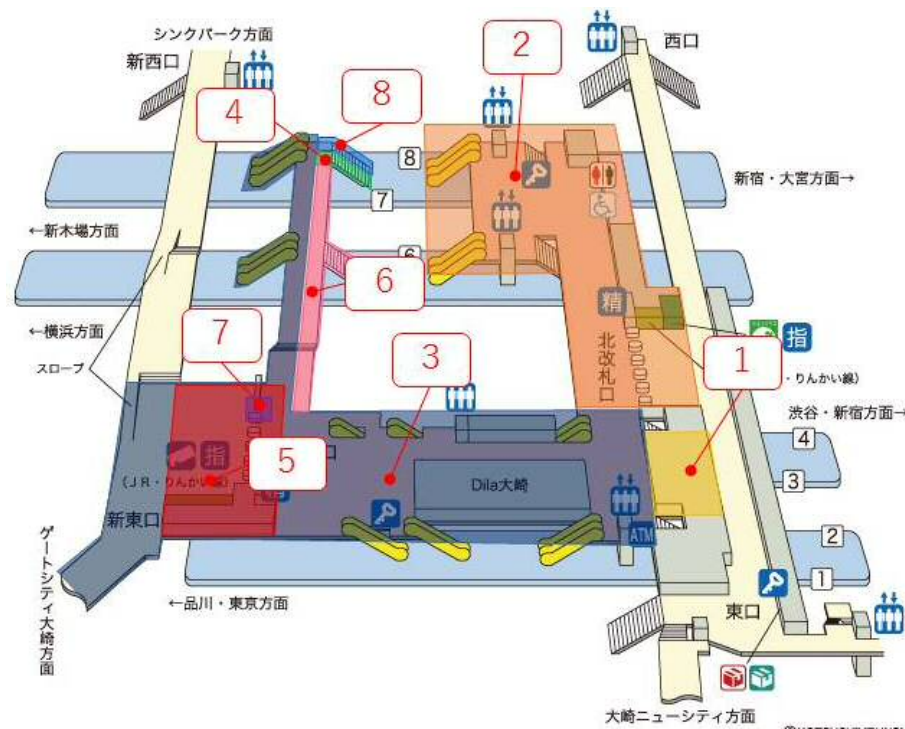
1. 区内の主な鉄道駅の乗車人員数の推移について

一日平均乗車人員数（※東急武蔵小山駅は一日平均乗降人員数）

	2007年	2017年	増減
JR大崎駅	115,483人	164,876人	49,393人(142%)
JR五反田駅	134,324人	139,030人	4,706人(103%)
JR大井町駅	92,420人	104,412人	11,992人(112%)
JR西大井駅	14,035人	15,473人	1,438人(110%)
	2008年	2018年	増減
東急武蔵小山駅	45,637人	53,952人	8,315人(118%)

2. 混雑緩和に向けた取り組みについて

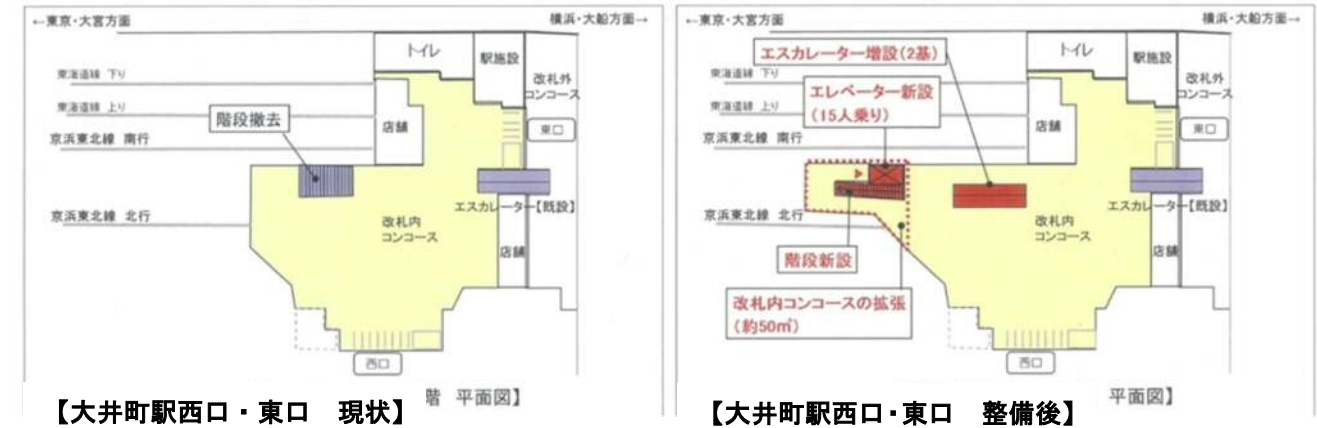
① JR大崎駅でのこれまでの取り組み



- ① 1998年 北口改札・券売機増設（大崎ニューシティ開発に伴う整備）
- ② 2002年 北口コンコース拡張（りんかい線開業に伴うコンコース整備）
- ③ 2002年 南口改札新設・南乗換こ線橋整備・南口自由通路整備
（ゲートシティ大崎開発に伴う整備）
- ④ 2008年 南乗換こ線橋から第4ホームへの仮設階段を整備
（周辺開発およびりんかい線乗入れに伴う混雑緩和）
- ⑤ 2010年 南口改札増設・レイアウト変更（混雑緩和・コンコース流動改善）
- ⑥ 2011年 南乗換こ線橋拡張・第3ホームへの階段増設（混雑緩和）
- ⑦ 2017年 南口改札増設（混雑緩和）
- ⑧ 2018年 南乗換こ線橋から第4ホームへの仮設階段を拡張（混雑緩和）

② JR大井町駅での取り組み

- ・ エレベーターの新設（1基15人乗り）によるバリアフリー設備の充実
- ・ 改札内コンコースの拡張（約50㎡）およびエスカレーターの増設（2基）による駅構内の混雑緩和
- ・ 共用開始時期 エレベーター、コンコース拡張部 2019年秋頃
エスカレーター 2020年春頃



3. 区内鉄道駅のバリアフリー化（ワンルート確保整備）の状況

○ 区内40駅	【内訳】エレベーター設置	36駅
【整備率】100%	スロープの設置	4駅

4. 区内鉄道駅のホームドア等の整備状況等について

○ 区内40駅	【内訳】可動式ホームドア整備	15駅
【整備率】50%	センサー付き固定式柵整備	5駅

【令和元年度整備予定駅（可動式ホームドア整備）】

- ・ 東急大井町線下神明駅（区助成予定）
- ・ 東急大井町線戸越公園駅（区助成予定）
- ・ りんかい線大井町駅
- ・ 東急大井町線旗の台駅（5、6番線）

【可動式ホームドア整備助成スキーム】

国 : 1/3
自治体 : 1/3（都1/6, 区1/6）※1日利用者10万人未満の場合都補助なし
事業者 : 1/3
助成額上限 : 1列（上限6,000万円）×2列=12,000万円
（※都補助なしの場合は、1列（上限3,000万円）×2=6,000万円）